



# 京山だより

平成31年1月28日

第12号

京ヶ瀬小学校

TEL 67-2103

HPアドレス <http://kyogase-es.agano.ed.jp/>

E-mail [kyogase@kyogase-es.agano.ed.jp](mailto:kyogase@kyogase-es.agano.ed.jp)

## 名前は自分の応援歌

校長 駒形 哲宣

2月1日（金）の全校朝会では、次のような話をする予定です。

（明石家さんまさんの娘「いまるさん」の写真を見せながら）

「いまるさん」は、明石家さんまさんのお子さんで、テレビでも活躍している人です。「いまる」という名前には、どんな意味があるのでしょうか。

さんまさんは、小さい頃、母親を亡くしているそうです。また、生まれた家が火事になり、弟が亡くなっています。その後、お父さんが亡くなり、多くの家族を亡くしているそうです。そのような体験から「生きているだけでまる儲け」という言葉を大切にするようになったそうです。人間は生きているだけで価値があるという意味だそうです。そして、命を大切にしてほしいという願いを込めて「生きているだけ」の「い」と「まる儲け」の「まる」で「いまる」という名前を娘さんにつけたそうです。

みなさんのお父さん・お母さん、そして、家族は、皆さんが生まれて間もなく名前をつけました。

324名一人一人、皆さんの名前にも、同じようにおうちの人の願いが込められています。是非、おうちの人に聞いてみてください。

是非、ご家族で、

「あなたの名前はね。〇〇〇ということをお願いしてつけたんだよ。」

「あなたの名前をつけた日は、とても雪の多い日で…。」

「おじいちゃんが、お父さんの名前は〇〇〇という理由で付けたと話していたよ。」等、名前についてお話ししていただけると幸いです。

自分の名前に込められた願いを聞いたお子さんは、嬉しい時でも悲しい時でも、自分の名前がきっと自分自身の応援歌になるはずです。

# 給食週間の取組について

1月21日(月)～25日(金)は、毎年、子どもたちが楽しみにしている「給食週間」でした。「給食に携わる方々に感謝の気持ちをもつ」「食に関するいろいろな体験を通し、食への関心を高める」というねらいで、今年度は、以下のような取組を行いました。



## 給食週間中の特別献立

今年度は、毎日異なるテーマの献立としました。「新潟県の郷土料理」、「ALTのアルバート先生の出身地フィリピンの料理」、「阿賀野市産の食材を使った料理」、あがの姫牛そぼろ丼などの「阿賀野市献立」でした。どの献立もととてもおいしくて、栄養満点。

毎日、今日はどんな料理が出るのだろうと、子どもたちは毎日ワクワクして給食の時間を楽しみにしていました。

## 給食委員会の発表

1月23日(水)のコスモス朝会で、給食委員会の子どもたちがクイズを発表しました。食に関する問題や食事のマナーについての問題を全校のみんなに考えてもらいました。楽しく食への興味関心を深めることができました。



## 食にまつわるお話



毎年、給食週間中、子どもたちに小学校の時の給食の思い出や食べ物にまつわるお話をしています。

今年度は、ALTのアルバート先生、校長先生、渡邊千夏先生からお話していただきました。

## 給食感謝の会



1月25日(金)に栄養士さんと調理員さんへの感謝の気持ちを伝える会を行いました。

一人一言ずつ、カードにメッセージを書き、学級でまとめたものを贈り感謝の気持ちを伝えました。

# 学校給食の会食会

1月24日(木)、田中市長様、岩村教育長様、遠藤農林課長様、菅井学校教育課長様、小野学校教育課長補佐様、渡辺教育総務係長様、吉村管理栄養士様が来校し、1年生と3～6年生と一緒に給食を召し上がりました。給食後、皆様からは、子どもたちによるお客様の紹介や席への案内の手際のよさをほめていただきました。子どもたちもお客様との楽しいひと時を過ごすことができました。



